

赤潮・貧酸素情報（3）

平成28年7月11日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7月11日にプランクトン調査を行った結果、各漁港及び中南部以北の沿岸でケイ藻（主にスケルトネマ属）の増殖が確認されています。

<プランクトンの状況>

- 各漁港及び中南部以北の沿岸ケイ藻（主にスケルトネマ属）の赤潮により、着色が認められます
（最高は宇島漁港表層で1mlあたり20,000細胞）
- ケイ藻類の赤潮は基本的に無害とされていますが、夜間には酸素量の減少が考えられますので、漁港内の活け間等で魚介類の蓄養には注意をお願いします。
- なお、7月5日までに確認されたカレニアミキモトイの細胞数は減少していますが、着色ではプランクトン種の判別が付きにくいいため、引き続き帰港中は着色海域で漁獲後の魚介類が活け間内でへい死することもありますので、着色海域付近ではスカッパを閉めて航行するなど注意して帰港してください。

<貧酸素の状況>

- 現在、貧酸素（酸素濃度30%以下）は発生していませんが、今後の情報にご注意ください。

<今後の状況>

- ケイ藻赤潮が収束した場合、貧酸素の発生の恐れがあります。
- 海面で着色していなくても魚介類のへい死を起こすことがありますので、影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当:俵積田、野副)までご連絡下さい。

番号	採水場所	採水層 (m)	珪藻 (細胞数/ 海水1ml)	カニア・ミキモイ (細胞数/海 水1ml)
①	柄杓田いかだ	0	14700	0
		4	-	2
②	柄杓田漁港	0	17700	0
		B-1	-	0
③	恒見漁港	0	0	0
		B-1	-	0
④	人工島北	0	4360	0
		5	-	2
⑤	人工島	0	2600	0
		B-1	-	0
⑥	苅田航路北側	0	4130	0
		5	-	0
⑦	苅田漁港	0	12000	0
		B-1	-	1
⑧	苅田南港	0	6000	0
		5	-	0
⑨	蓑島いかだ	0	2800	0
		5	-	0
⑩	椎田いかだ	0	0	0
		5	0	0
⑪	宇島いかだ	0	0	0
		5	0	0
⑫	宇島漁港	0	20000	0
		B-1	-	10
⑬	吉富漁港	0	4000	0
		B-1	-	4

